

# 宇陀市室生の「むろう地すべり見楽館」を活用し 奈良県砂防ボランティアと合同で出前講座を開催しました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課・奈良県砂防ボランティア協会

令和4年10月4日(火)および11日(火)、大規模な地すべり区域である宇陀市室生の「むろう地すべり見楽館」を活用し、同市立室生小学校および榛原東小学校の4年生を対象に出前講座および地すべり対策事業の見学会を実施しました。本講座は奈良県砂防ボランティア協会と合同で実施し、前半の土砂災害防止に関する出前講座を砂防・災害対策課が担当、後半の「むろう地すべり見楽館」および屋外展示の見学を砂防ボランティア協会が担当しました。

児童たちは講座や解説を通して、身近に存在する大規模な地すべり地区や地すべり事業、土砂災害からの効果的な避難について理解を深めたようでした。以下、実施の様様をお伝えします。

## 1. 講座の概要

■日時：(室生小) 令和4年10月4日(火)  
09:00~11:15

(榛原東小) 令和4年10月11日(火)  
09:30~11:30

### ■内容

#### ☆出前講座(砂防・災害対策課)

- 各校区内の土砂災害警戒区域等の確認
- 室生地区の土砂災害警戒区域等の状況
- 気象情報や避難所等、避難に役立つ情報の解説

#### ☆見楽館および屋外展示の見学

(奈良県砂防ボランティア協会)

- 地すべり対策事業の解説(映像、ジオラマ等使用)
- 抑止杭、集水井の現物確認 など

## 2. 当日の様様と受講者の感想



【砂防・災害対策課による出前講座】



【砂防ボランティアが対策事業を解説】

○ハザードマップを見ることが大事だと思った。講座はクイズや図を使ってくれたので分かりやすかった。

○土砂災害警戒情報が警報よりも危険度が高い情報とは知らなかった。天気予報を見て、土砂災害警戒情報が出たら危ない所からすぐ逃げたい。

○見楽館のジオラマはすごく丁寧に作られていてすごかったし、集水井の中は深くて驚きました。貴重な体験ができたと思う。

○社会科で学習してきた自然災害に対する自助・公助・共助の取り組みや、暮らしを守る県の大規模な施策について、子どもたちは体験的に学ぶことができた。(教師)



【集水井の現物を確認】



【集水井の体験模型に入る児童】